

令和6年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	6	議席 番号	14	氏名	芦澤秀典 議員	1/1
発言項目		要 旨				答弁者
1	ライフラインの確保 について	<p>大災害が発生するたびにライフラインが破壊され機能が停止し、市民生活が成り立たなくなる。今回の能登半島地震でも発生から2か月以上経過したにもかかわらず、復旧のめどが立っていない地域もあると聞く。そこで、ライフラインの確保など富士宮市の災害対応について、以下伺う。</p> <p>(1) 富士宮市のライフラインの災害対応について。</p> <p>① ライフラインの復旧の順番及び復旧の日数について伺う。</p> <p>② 停電時の対応について伺う。</p> <p>③ 飲料水の確保についてはどうなっているのか。また、主要水道管の耐震適合率はどうなっているのか伺う。</p> <p>④ 公共交通網の確保について伺う。</p> <p>(2) 能登半島地震発生直後より富士宮市から災害支援のために職員を被災地自治体へ派遣したが、その経験を市としてはどのように生かしていくのか伺う。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
2	富士急白糸滝レスト センター跡地について	<p>1999年に富士急白糸滝レストセンターが閉鎖され、2007年に宗教法人が当跡地を取得し、その後17年間にわたって何ら整備されることなく今日に至っている。富士山世界遺産登録から10年が経過し、「このままの状況でいいのか。」という声も地元から多く聞かれる。この件に関する富士宮市の取組について、以下伺う。</p> <p>(1) 宗教法人が前述の跡地を取得してから今日に至るまでの経過について伺う。</p> <p>(2) 宗教法人との会合について伺う。</p> <p>(3) 富士宮市としては、この跡地の今後についてどう考えているのか伺う。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
3	ヤングケアラーにつ いて	<p>ヤングケアラーという言葉が広く一般に使われるようになった。病気の家族の介護や幼い兄弟の世話を担う18歳未満のこどもである「ヤングケアラー」への支援が動き出した。国の動きに連動し、全国の自治体も相次いで実態調査に乗り出している。そこで、富士宮市のヤングケアラー支援の取組について、以下伺う。</p> <p>(1) 富士宮市におけるヤングケアラーの実態把握について。</p> <p>① ヤングケアラーの実態調査は行っているのか。また、ヤングケアラーは何人いるのか伺う。</p> <p>② 具体的にどのようにして調査を行ったのか伺う。</p> <p>③ ヤングケアラーであるこどもが在籍している学校での取組はあるのか伺う。</p> <p>(2) 富士宮市におけるヤングケアラー支援策の推進について。</p> <p>① 関係機関との連携はできているのか伺う。</p> <p>② ヤングケアラーに対して具体的な支援策はあるのか。また、今後どのように推進するのか伺う。</p> <p>③ ヤングケアラーであるとの自覚のない児童生徒への具体的な広報啓発はどのように行うのか伺う。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長